

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			詳細点検
事務事業名	自主防災活動支援事業(美原区)			シート番号	A 一般事務事業 217-10
担当部署名	美原区役所	局	部	自治推進	課 評価責任者(課長名) 神楽所

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	7	地域防災力の向上と災害に強いまちづくりの推進	有
	2	事業開始年度	平成 10 年度		終了(予定)年度	年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)				
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	災害による被害を最小限にするためには、地域住民自らが、平常時からの防災活動に加えて、災害発生時には、災害対応の初期の段階で適切な減災活動を行うことが非常に重要なことから、地域における自主防災組織の設立とその活動支援事業が必要となったため。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input checked="" type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input checked="" type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	各自主防災組織とその活動			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	各自主防災組織が自主性を持って機能的に活動できる組織づくりを支援するとともに、防災士等の防災に関する知識や経験を持った「活動できる人材と人員」を育成・確保することで、地域防災力の向上を図り、平常時はもとより、災害時においても地域の力において、迅速かつ適切な初期消火、救出・救助活動等を行い、被害を最小限に食い止め、一刻も早く復旧することを目指す。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	自主防災組織の更なる活動の活性化と地域防災力の向上を促進させるため、関係機関と連携し、各組織の活動状況や習熟度に応じた防災知識の普及・啓発、防災訓練の実施等地域の実情に即した的確な支援を行う。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他()				
		校区自主防災会				

Ⅲ. 投入量

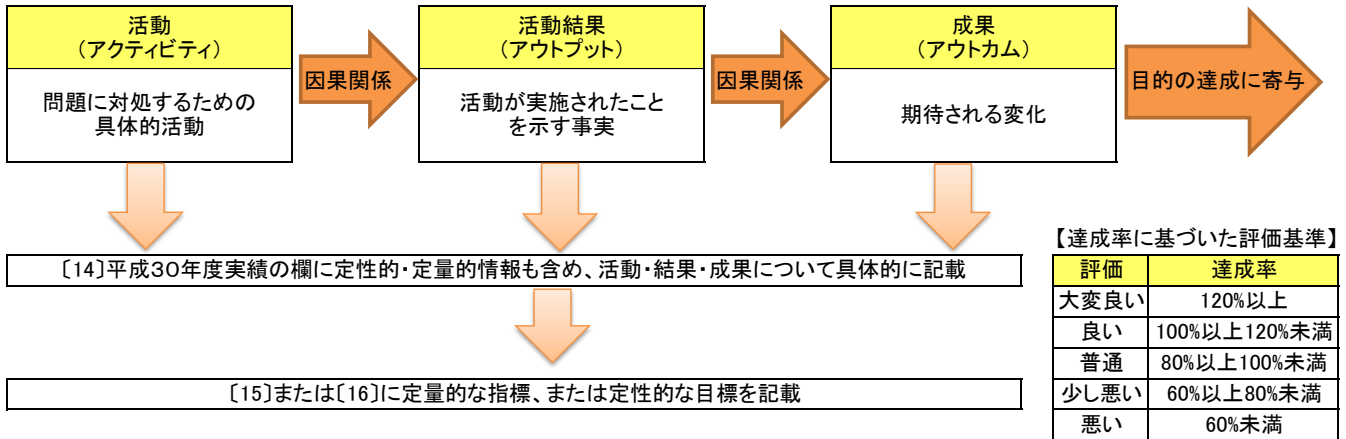
項目	単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業費 (a)	千円	350	300	270	360	
11 主な事業費内訳	自主防災活動助成金	千円	300	250	200	300
	その他	千円	50	50	70	60
		千円				
		千円				
		千円				
財源内訳	国・府支出金	千円				
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
	市債	千円				
	その他()	千円				
一般財源	千円	350	300	270	360	
12 人件費 (b)	千円	7,810	7,810	7,650	7,785	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	8,160	8,110	7,920	8,145	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	自主防災活動支援事業(美原区)	シート番号	217-10
-------	-----------------	-------	--------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



事業の活動内容や成果

平成30年度実績								
活動実績と成果	14	<p>災害が発生した際に、より効果的な自主防災活動が行われることで、被害の防止・軽減を図ることにつなげていくため、各校区で実施される防災訓練に対して、訓練に係る直接必要な資器材や物品等の購入費用を助成した。平成30年度は、区内4校区の防災訓練に対して助成した。</p> <p>また、出前講座は当課職員が「災害に備えて」というテーマで、地震や風水害などの災害に備えて、日頃からの備えや自らの安全を守る方法、地域における防災への取組などについて講義するもので、平成30年度は、地域の団体やNPO法人を対象に5回の実施があった。</p>						
		15	自主防災訓練の参加人数	人	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
		指標名	単位					
				目標値	1,300	1,300	1,300	1,300
				実績値	-	1,610	1,595	
				達成率	-	124%	123%	
				評価	-	大変良い	大変良い	
			算出方法・設定根拠など					
			大規模な訓練(毎年2校区づつ)は各450人、その他の校区(4校区)は各100人の参加目標としている。					
		16	防災啓発出前講座実施数	回	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
			指標名	単位				
					目標値	6	6	6
					実績値	4	4	5
					達成率	67%	67%	83%
					評価	少し悪い	少し悪い	普通
		算出方法・設定根拠など						
		1校区あたり1回、計6校区分を目標としている。						

業績の分析

17	目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
	<p>これまでの自主防災組織への支援により、自主防災訓練への参加者数はほぼ現状を維持しており、地域住民の防災への意識が根付いていると考える。</p> <p>出前講座については、講義内容・日程等、申込者の要望を可能な限り聞き入れることに留意することで、数は僅かであるが年々増加している(平成27年度は3回)。また、受講者の感想についても「丁寧で分かりやすかった」等の回答を得ており、満足度の高い講座を実施できていると考える。</p>

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。